

授業科目名 (英文名)	フランス語 2 (C) (French 2)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・後期
担当教員	フィリップ エチエンヌ	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	フランス語を半期学習した者を対象に、コミュニケーション・アプローチに基づいて、より複雑なフランス語を聞き取り、理解し、さまざまなフランス語の語彙と表現を用いて自己および自己の周りのことを表現できるようにすることを目標とする。		
講義内容・授業計画	<p>I. 授業内容</p> <p>「フランス語 1」に続き、教科書の一つの課を2回にわけて行う。各課は、「ディアローグ」、「アクティヴィテ」、「文法と問題」などで構成される。「ディアローグ」の部分ではさまざまな会話表現を覚え、繰り返し練習する。「アクティヴィテ」ではCDの内容を聞き取ったり、学習者がペアになり日本語を介さずダイレクトにフランス語を用いてコミュニケーションを行ったりする。「文法と練習」の部分では説明を聞き、練習問題を解いてみる。</p> <p>「ディアローグ」の映像と音声は教科書のホームページで視聴できるので、授業の前後に予習と復習をし、次回に「アクティヴィテ」で使用する語彙はあらかじめ覚えてくること(毎回、授業の最初に小テストを行います)。</p> <p>II. 授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 第8課1 衣服・天気を言う ディアローグとアクティヴィテ 第8課2 衣服・天気を言う 文法と練習問題 第9課1 すきなスポーツ・朝食を言う ディアローグとアクティヴィテ 第9課2 すきなスポーツ・朝食を言う 文法と練習問題 第10課1 いろんな場所へ行く ディアローグとアクティヴィテ 第10課2 いろんな場所へ行く 文法と練習問題 第11課1 一日の日課を言う ディアローグとアクティヴィテ 第11課2 一日の日課を言う 文法と練習問題 第12課1 人物について尋ねる ディアローグとアクティヴィテ 第12課2 人物について尋ねる 文法と練習問題 第13課1 レストランで食事をする ディアローグとアクティヴィテ 第13課2 レストランで食事をする 文法と練習問題 第14課1 過去にしたことを言う ディアローグとアクティヴィテ 第14課2 過去にしたこと言う 文法と練習問題 まとめとオラルのテスト 評価(筆記テストによる到達度の確認) 		
テキスト	ニコラ・ガイヤール他『新装 カフェ・フランセ』(朝日出版社)大学生協で購入すること。		
参考文献	辞書:『ジュネス仏和辞典』(大修館書店)、『プログレッシブ仏和辞典』(小学館)など。辞書と参考書については開講時に説明します。学術情報館にあります。		
成績評価の基準・方法	<p>フランス語の仕組みの基礎を理解し、より深い内容のフランス語を聞き取り、十分な語彙を用いてコミュニケーションができる能力を身につけた者に単位を授与する。特にフランス語の仕組みを完全に理解し、豊富な語彙を用いて、完璧なフランス語で自己を表現できる者にはSの評価。</p> <p>フランス語の仕組みをかなり理解し、ある程度豊かな語彙を用いて、美しいフランス語で自己を表現できる者にはAの評価。</p> <p>フランス語の仕組みを基本的に理解し、中程度の語彙を用いて、聞き取れるフランス語で自己を表現できる者にはBの評価。</p> <p>最低限のフランス語の仕組みを理解し、最低限の語彙を用いて、フランス語で何とか自己を表現できる者にはCの評価。</p> <p>成績評価の方法</p> <p>オラルテストと筆記テスト60%、受講態度(授業中のアクティヴィテでの練習問題への解答等)と小テスト40%を合わせて総合的に評価する。</p>		

履修上の注意・履修要件	<p>授業でのアクティビティが大変重要な科目であるため、欠席しないこと。また、授業中の「アクティビティ」を円滑に進めるため予習を怠らず、授業で学んだことを確実に身につけるために必ず復習を行うこと。</p> <p>AクラスからCクラスまで3つのクラスがあり、時間割も月曜日1時限目（Aクラス）と月曜日2時限目（B・Cクラス）に別れています。新学期開始までに学務課前の掲示板に掲示するクラス分けに従って、決められたクラスで履修してください。</p> <p>再履修の学生も4月に掲示するクラス分けに従って、決められたクラスで履修すること。</p> <p>「フランス語1」を履修した学生は必ず「フランス語2」も履修してください。</p>
実践的教育	該当しない。
備考	